

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
【部門区分】第 7 部門第 1 区分
【発行日】平成 20 年 8 月 21 日 (2008.8.21)

【公開番号】特開 2005-302407 (P2005-302407A)
【公開日】平成 17 年 10 月 27 日 (2005.10.27)
【年通号数】公開・登録公報 2005-042
【出願番号】特願 2004-114018 (P2004-114018)
【国際特許分類】

H 0 5 B 6/12 (2006.01)

【F I】

H 0 5 B 6/12 3 1 7

【手続補正書】

【提出日】平成 20 年 7 月 7 日 (2008.7.7)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

本体の上面に被加熱容器を載置するトッププレートを配し、該トッププレートの下方に誘導加熱コイルを配し、該誘導加熱コイルを駆動する複数の電子基板と、前記誘導加熱コイルと前記電子基板を冷却するファンとを前記本体内部に配した誘導加熱調理器において、

前記ファンにターボファンを用い、該ファンの吸込口と吹出口の方向を前記ファンの軸方向と一致する方向に配置し、前記吹出口は複数の吹出口で構成され、前記複数の吹出口のそれぞれの下流側に前記電子基板を配置することを特徴とする誘導加熱調理器。

【請求項 2】

請求項 1 において、

前記電子基板のうち発熱の大きい部品を前記複数の吹出口の下流に集中して配置したことを特徴とする誘導加熱調理器。

【請求項 3】

請求項 1 または 2 のいずれかにおいて、

前記複数の吹出口の少なくとも一つは前記誘導加熱コイルにダクトを介して導くよう構成したことを特徴とする誘導加熱調理器。

【請求項 4】

請求項 1 乃至 3 のいずれかにおいて、

前記ファンは、羽根車と該羽根車を駆動するファンモータを有し、

該ファンモータは少なくともその一部を前記羽根車内部に内蔵させたことを特徴とする誘導加熱調理器。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 4

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 1 4】

本発明は、上述の課題を解決するためになされたもので、請求項 1 の発明は、

本体の上面に被加熱容器を載置するトッププレートを配し、該トッププレートの下方に

誘導加熱コイルを配し、該誘導加熱コイルを駆動する複数の電子基板と、前記誘導加熱コイルと前記電子基板を冷却するファンとを前記本体内部に配した誘導加熱調理器において、

前記ファンにターボファンを用い、該ファンの吸込口と吹出口の方向を前記ファンの軸方向と一致する方向に配置し、前記吹出口は複数の吹出口で構成され、前記複数の吹出口のそれぞれの下流側に前記電子基板を配置するものである。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0015

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0015】

請求項 2 の発明は、請求項 1 において、前記電子基板のうち発熱の大きい部品を前記複数の吹出口の下流に集中して配置したものである。

【手続補正 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0016

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0016】

請求項 3 の発明は、請求項 1 または 2 のいずれかにおいて、前記複数の吹出口の少なくとも一つは前記誘導加熱コイルにダクトを介して導くよう構成したものである。

【手続補正 5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0017

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0017】

請求項 4 の発明は、請求項 1 乃至 3 のいずれかにおいて、前記ファンモータは少なくともその一部を前記羽根車内部に内蔵させたものである。

【手続補正 6】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0018

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0018】

以上述べたように、請求項 1 記載の発明は、本体の上面に被加熱容器を載置するトッププレートを配し、該トッププレートの下方に誘導加熱コイルを配し、該誘導加熱コイルを駆動する電子基板と、前記誘導加熱コイルと前記電子基板を冷却するファンとを前記本体内部に配した誘導加熱調理器において、前記ファンにターボファンを用い、該ファンの吸込口と吹出口の方向を前記ファンの軸方向と一致する方向に配置し、前記吹出口の下流側に前記電子基板を配置するものである。

【手続補正 7】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0020

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0020】

請求項 2 記載の発明は、請求項 1 において、前記電子基板のうち発熱の大きい部品を前記複数の吹出口の下流に集中して配置したものである。

【手続補正 8】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 2 2

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 2 2】

請求項 3 記載の発明は、請求項 1 または 2 のいずれかにおいて、前記複数の吹出口の少なくとも一つは前記誘導加熱コイルにダクトを介して導くよう構成したものである。

【手続補正 9】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 2 4

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 2 4】

請求項 4 記載の発明は、請求項 1 乃至 3 のいずれかにおいて、前記ファンは、羽根車と該羽根車を駆動するファンモータを有し、該ファンモータは少なくともその一部を前記羽根車内部に内蔵させたものである。